

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 15日

中施策事業名	予算編成事務	部課名	行政経営部・財政課
		作成者	浦 倫彰
①めざすまちの姿	23 世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策となっている		
②大施策	世代、性別などで不公平感のない予算配分や施策を実施する		
③中施策	多くの市民が公平と感じる施策を実施する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	世代、性別等で不公平感のない予算配分となっている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 当初予算関連事務事業(予算編成、予算書調製) ・ 当初予算関連事務事業(当初予算の概要作成(消費税・都計税充当表)) ・ 当初予算関連事務事業(県当初予算概要作成) ・ 当初予算編成過程公表事業 ・ 枠配分予算に関する事務事業 ・ 補正予算関連事務事業		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
世代で不公平感のない予算配分や施策となっていると思う割合※	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	32.6	35	37.1	0	0	0
	実績値	25.5	32.5				
	単位	%					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				8,861千円	8,979千円	
	a 事業費合計			8,861千円	8,979千円	9,069千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				8,861千円	8,979千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				129 円	130 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>評価指標は、引き続き改善が見られ、着実に実績を伸ばしている。不公平のない予算配分や施策の推進に努め、予算編成過程や財政状況の情報発信についても工夫を重ねてきたことが、一定の成果につながっていると考えられる。コストは前年度と同水準で推移しており、今後も安定的な運用が見込まれる。引き続き、市民からの理解と信頼を得られるよう、さらなる情報発信の充実と透明性の確保に取り組んでいく。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	今年度も引き続き部門別包括予算制度による予算編成を予定している。物価高騰の影響に加え、公共施設の長寿命化事業については、方針の見直しを経て、再び具体的な取り組みを進めていく段階にあることから、歳入・歳出の見積もり精度向上に努め、より一層の適正化を図る。予算編成にあたっては、実施計画や過去の決算実績との整合性を意識し、限られた財源の中で必要な事業への配分が可能となるよう取り組む。また、情報発信の工夫を継続し、市民にとってわかりやすく、透明性の高い財政運営をめざす。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	公共施設の長寿命化事業や一部事務組合への負担金など、多額の費用を要する事業等の実施が見込まれることから、将来にわたる必要な予算を的確に見積もるとともに、歳入の見通しを踏まえつつ、企画政策課など関連部署と連携しながら、連続性ある予算編成を行っていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 23日

中施策事業名	財政運営・地方債事務	部課名	行政経営部・財政課
		作成者	浦 倫彰
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	持続可能な財政計画を立て、評価・改善する		
④中施策事業の対象	市民		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	基金の管理、地方債の発行など将来を見据え計画的に行うことにより、適正な負担となるような財政運営がされている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・市財政全般に亘る企画調整関連事務 ・普通交付税関連事務 ・特別交付税関連事務 ・決算統計関連事務 ・財政健全化法関連事務 ・起債関連事務 ・公営企業関連事務 事業 ・決算関連事務 ・財政状況公表事務 ・補助金進行管理事務 ・消費増税に伴う使用 料等改定に関する事務 ・長期財政推計関連事務 ・公会計事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
将来負担比率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	-25	-24	-24.3	0	0	0
	実績値	-61	-61				
単位	%						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				2,174千円	1,897千円	
	a 事業費合計			2,174千円	1,897千円	2,285千円
	人 件 費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一 般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
② 補助金等 (収入)				0千円	0千円	0千円
③ コスト (①－②)				2,174千円	1,897千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				32 円	28 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	目標達成	○	A
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	計画より進んでいる、計画通り	○	A

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>A</p> <p>目標値は、今年度も十分に達成している。将来負担比率は引き続き健全な水準を維持している。基金の積立・取崩および起債の発行は、長期的な財政運営を見据えた中で適切に行われており、基金残高・市債残高のいずれも安定的に推移している。基金については、今後、公共施設の長寿命化に向けた計画的な投資や、ソフト事業における断続的な財政負担も見込まれることから、引き続き、着実な管理と運用に努めていく。なお、コストについては、公会計関連業務について微減となっている。</p>
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	基金積立および活用にあたっては、必要な事業が円滑に実施できるよう、将来を見据えた財政運営のもとで着実に進めていく。特に、公共施設の長寿命化に伴う支出や、ソフト事業への対応を念頭に置き、基金の適切な管理・運用に努める。あわせて、市債全体の発行状況や償還スケジュールを踏まえた財源構成の最適化を図るとともに、歳入見通しや事業の実施時期の調整も含め、持続可能な財政構造の確保に向けた取り組みを進めていく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	公共施設の長寿命化や災害への備え、ソフト事業への対応など、持続可能な行政運営を維持していくためには、将来を見据えた基金の積立が引き続き必要である。実施計画との連動を図りながら、必要となる事業に応じて計画的に積立を行うとともに、中長期的な財政見通しの中で適切な水準の基金残高を維持できるよう検討を進めていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 23日

中施策事業名	入札契約事務	部課名	行政経営部・財政課
		作成者	浦倫彰
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	入札参加資格審査対象者及び入札参加者等		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	地方自治法に従った経済性、公平性、競争性を兼ね備えた適正な入札及び契約が行われている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 工事及び物品等入札参加資格関係事務 ・ 請負契約関係事務 ・ 指名業者選定関係事務 ・ 電子調達関係事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
第1四半期に適正な入札事務が実行された率	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	38	39	40	0	0	0
	実績値	34.5	20.4				
	単位	%					
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
	単位						

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				2,782千円	2,765千円	
	a 事業費合計			2,782千円	2,765千円	4,841千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
			人件費合計		0千円	0千円
		② 補助金等 (収入)			0千円	0千円
③ コスト (①－②)			2,782千円	2,765千円		
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				40 円	40 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	ある程度貢献できた	△	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	適正であった	△	B
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	<p>B</p> <p>昨年度と同様に事業者の職人不足や物価上昇の影響により実績値を下げる事となった。また、今後は早期発注の取り組みを今以上に進めて行く必要がある。</p>
-----------------------------	--

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	指名業者審査委員会に実情の報告や設計審査会などにおいて工事担当者への周知を行い、早期発注に取り組んでいく。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	前年度に設計業務を行うなどして、早期発注に取り組んでいく。 また、早期発注を促すために第1四半期の工事稼働率を担当部署の報告していく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等

中施策評価書

作成日 令和07年 4月 16日

中施策事業名	工事検査事業	部課名	行政経営部・財政課
		作成者	浦倫彰
①めざすまちの姿	24 税収が確保され、持続可能な財政運営となっている		
②大施策	収入を確保し、持続可能な財政運営を行う		
③中施策	税金を効果的、効率的に使う		
④中施策事業の対象	工事請負業者		
⑤中施策事業の意図 (対象をどのようにしたいですか)	請負契約書の内容に従って、工事が適正に実施されていることを検査によって確保することで、成果の品質が高いレベルで保持され、施工者に対しても技術的な水準向上が図られている		
⑥中施策事業を構成する 事務事業(手段)	・ 主要工事進行管理事務 ・ 工事検査事務 ・ 補助事業の審査及び検査関係事務		

■評価指標

中・長期成果に対する目標達成状況							
平均工事成績評定 点	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	78	78.5	79	0	0	0
	実績値	76.2	76.8				
単位	点						
	事業実施年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度	令和08年度	令和09年度	令和10年度
	目標値	0	0	0	0	0	0
	実績値	0	0				
単位							

※のついた指標はまちづくり指標に同じ

■コスト

事業実施年度				決算額	決算額	予算額
				令和05年度	令和06年度	令和07年度
① 総事業費 (a+b)				0千円	8千円	
	a 事業費合計			0千円	8千円	31千円
	人件費	正規職員	人数	0 人	0 人	
			b 金額	0千円	0千円	
		非常勤一般職員等 (事業費に含む)	人数	0 人	0 人	
			金額	0千円	0千円	
		人件費合計			0千円	0千円
	② 補助金等 (収入)				0千円	0千円
③ コスト (①－②)				0千円	8千円	
市民一人あたりコスト (③／市の人口(評価対象年度末時点))				0 円	0 円	

■評価

評価項目	内容	評価結果		
(1) 有効性	成果指標は目標値を達成していますか	ほぼ達成	△	B
	大施策に貢献していますか	貢献できた	○	
	重点をおく指標は妥当でしたか	妥当であった	○	
(2) 妥当性	中施策実現に向けて、事務事業はそれぞれの役割を果たしていますか (事業の役割が重複していませんか)	期待された役割を果たしている	○	A
	自治体が関与するのは妥当ですか	妥当であった	○	
(3) 効率性	評価指標達成に対する予算規模・単位コストは適正ですか	コストを縮減して目標が達成できた	○	A
(4) 進捗状況	中施策事業は計画通りに進んでいますか	おおむね計画通り	△	B

■総合評価

上記までの評価指標、コスト、各項目評価の観点からの分析	A 評価指標は微増であった。全体を見ると、評定点の高い案件が増えている一方で、評定点が普通より低い案件があり、新たな課題が出る結果となった。今後は、評定点を今以上に上げていけるように工事検査における丁寧な説明等に心がける必要がある。
-----------------------------	---

■改善案の検討

現年度に実施可能な改善・調整事項	豊明市優良工事公表要領に基づき、優良工事の公表を行い、施工業者の表彰を行う。	
翌年度以降に実施可能な改善・調整事項	工事時期が年間を通して平準化するように取り組み、施工環境を整えることにより、施工技術の向上を図り、評定点の向上につなげていく。	
今後、改善・拡大する事業	事業名	内容、理由、時期等
今後、実施すべき新規事業	事業名(仮称)	内容、理由、時期等
今後、休廃止する事業	事業名	内容、理由、時期等